

例を載せる。

『菅家文章』「388 劉阮遇溪邊二女詩」にも、「不放神仙離骨錄、前途脱屣旧家門」の句が見える。

○黄埃…黄色の土埃。

白居易の「冀城北原詩」に「風吹黄埃起、落日驅征軍」の句が見える。

『漢語大詞典』には「①黄色的塵埃」の説明として杜甫「夏日曠詩」の「雨降不濡物、良田起黄埃」の句を引き、また「②比喻、塵世間」と説明する。

172 ○交 …交わる。人と付き合う。

『菅家文章』「104 去春詠渤海大使、與賀州善司馬、贈答之數篇。今朝重吟、和典客国子紀十二丞見寄之長句、感而翫之。聊依本韻」に、「春遊惣轡州司馬、夏熱交襟典客郎」の句が見える。

○紫府…神仙のいどころ。ここでは、「宮中」という意味。

『漢語大詞典』には「道教称仙人所居」と説明し『抱朴子』「祛惑」の「及至天上、先過紫府、金牀玉几、晃晃昱昱、真貴處也」の用例を引く。

『菅家文章』「96 雲州茂司馬、視詩草數首。吟詠之次、適見哭菅侍暨之長句。不勝復悼、聊敘一篇」に、「定遇瑠璃師主仏、疑為紫府客來仙」の句が、また『菅家文章』「448 重陽侍宴、同賦菊有五美、各分一字、應製」に「中流採得菅看後 在々群官紫府仙」の句が見える。

173 ○通夜…夜どおし。夜もすがら。徹夜。通宵。

『漢語大詞典』には「猶通宵」と説明し曹丕「與吳質書」の「時有所處、至通夜不暝」の用例を載せる。